

佐藤副館長と学生の懇談会でのご意見回答

1. 現状で可能です

(ご意見) 参考文献を探す際のキーワードの相談をしたかったが、その時にはカウンターに人がいなかった。

(回 答) 文献検索に関わる相談は平日の 9-17 時にカウンターで対応しています。恐れ入りますが、その時間帯にお越しください。

(ご意見) 昨年、実習の参考文献を探す際に、電子ジャーナルがあることを知らず、カウンターの人に教えてもらったことがあった。

(回 答) 雑誌については、大学が購読するもののみならず、無料で公開されているコンテンツも多くなってきています。館内に雑誌がない場合でも電子版で入手できる可能性があります。手に入らないと速断せず、カウンターにご相談いただければ、探し方も含めてご案内します。

2. 実施します

(ご意見) 生理学の専門書・雑誌を購入して欲しい。

専門書・参考文献を購入して欲しい。

専門分野だけでなく、他学部の蔵書を読めるのは大きなメリットである。生命科学図書館にも一般書があつてよいと思う。

(回 答) ご意見を参考に選書します。

(ご意見) 4F にある PC の台数が少なく、いつも利用中になっている。印刷専用端末を作って欲しい。

(回 答) 試験期間中は、プリント優先機を設けます。

(ご意見) TA には電子ジャーナルの使い方や文献検索の仕方を教えてほしい。

(回 答) 従来より、電子ジャーナルの利用方法、文献検索のガイダンスは、カウンターで対応していますが、今後は、TA の学習相談でもサポートしていく予定です。

(ご意見) 各学部の自習室にポスター等を貼ってもらえば、広報になると思う。

図書館の 1F にポスターを貼るだけでも、図書館来館者に広報になる。

(回 答) 関連の各学部へポスター配付を依頼します。また、生命科学図書館 1F には、ポスターコーナーやインフォメーションコーナーを設置していますが、来館者の動線を考え、目に付きやすい場所に貼付します。

(ご意見)医学部学生は、図書館以外にも勉強スペースが用意されており、図書館はあまり勉強エリアとして認識されていない。

(回 答)学習スペースが学部にも整備されていることは、学習環境上良いことだと思いますが、図書館は資料や情報の提供とともに利用できるスペースとして今後もより一層広報していきます。

3.実施に向けて動きます

(ご意見)学生には KOAN で広報するのがよいと思う。

(回 答)これまでも図書館全体では講習会の案内等に利用しています。掲載可能な情報は KOAN の制約で限られますが、今後も有用な情報を提供していきますので、ご注目ください。

4.代替手段が利用できます

(ご意見)OPAC 端末による蔵書検索を長時間立って実施しなくてはならないため、座ってできるようになればよい。

(回 答) OPAC 端末については、所蔵の有無、配架場所の確認を主たる用途とし、複数の利用者が共用するものと位置づけ、長時間の利用は想定していません。文献検索の代用として長時間利用するようなケースでは、4F の PC コーナーのご利用をおすすめします。

(ご意見)グループ学習室も予約や申請が必要であり、気軽に利用しにくい。4Fに設置されているのも遠く感じる。

(回 答)利用を希望する方が確実に利用できるようにするという趣旨で予約申し込み制としています。グループ学習室、個室などの予約状況を確認する場合は、附属図書館のホームページの「Web サービス」から当日の状況が確認できます。また、同じサイトから予約申し込みもできますのでご利用ください。

附属図書館ホームページ Web サービス

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/index.php>

(ご意見)3年生の時は勉強に利用したが、4年生になった今は学部からの距離が遠く感じる。せっかく来ても空席がなければ勉強できないため、遠方から利用状況を確認できるようなシステムがあるとよい。

(回 答)現在、閲覧スペースにある座席の利用状況を遠方から確認することはできませんが、個室の利用状況を確認する場合は、附属図書館のホームページの「Web サービス」で当日の予約状況が確認できます。また、同じサイトから予約申し込みもできますのでご利用ください。

5.ご意見を参考に検討します

(ご意見) 図書館はあまり使っておらず、改修してから 4F のラーニング・コモンズを利用した。PC を使っている人が多く静かなため、すぐ隣のスペースでは共同学習がしにくい。総合図書館にあるラーニング・コモンズのようなスペースになるかと想像していた。

話のできるエリアと PC のエリアを区切ってほしい。

1F が静かで 4F がにぎやかなスペース等、住み分けができればよい。

(回 答) 図書館スペースのゾーニングについては、ご意見を参考に今後の利用状況も見ながら検討します。

(ご意見) 衝立で仕切る 4 人席ができたのはうれしい。試験期のみ増設できるとよい。

(回 答) 衝立について好評をいただき、ありがとうございます。衝立は、気軽に利用できる集中できる設備だと思います。時期によって増減させるというよりも、今後、閲覧机全体の中で設置が適切な場所を検討していきます。

(ご意見) 吹抜けがあるため、騒いだら聞こえるので、仕切りや個室があるとよい。

(回 答) 図書館の構造に合わせた設備の充実について、予算も必要であることから実現が難しいところもありますが、今後検討していきます。

(ご意見) 会話もできて勉強できるスペースがほしい。靴を脱いで上がれる畳スペース等。

(回 答) 図書館では、グループで活発に議論できる、また、長期滞在できる空間も充実させていきたいと考えています。いただいたご意見は、今後の改修に向けて検討します。

(ご意見) 24 時間開館があれば、イノベーションセンターより図書館の方が環境がよいので、利用する人がいるかもしれない。

(回 答) 図書館の方が環境が良いとのこと、ありがとうございます。24 時間開館については、人件費、水光熱費他経費がかかるため、予算的に厳しいところから実現が難しいところではありますが、開館時間の延長について検討していきたいと思っています。

(ご意見) 開館時間としては、1 限開始前に利用できるとよい。

(回 答) 開館時間の延長についての検討の際に、どの時間帯がより利用者のニーズに合っているか、運用面も含めて検討します。

(ご意見) 教科書はいつも借りられているので、複数冊所蔵して欲しい。古い版の方が冊数が多い

ことがある。複本を購入する際には、閲覧用に1冊を禁帯出にすればよいと思う。

(回 答) シラバス掲載の図書など教科書資料は3冊までは購入しています。1冊を禁帯出とするかどうかについては、運用上実施可能かどうか検討します。

(ご意見) いらなくなった教科書を学生から譲り受け蔵書にすれば、お金をかけず複数冊所蔵できると思う。

(回 答) 学生からの寄贈資料活用のご意見ありがとうございます。教科書は、特に共用する資料となることから、書き込み等のある(参考になる場合もあると思いますが)使用済の教科書を広くご提供いただくことについては、当面考えていません。ただ、今後、教科書の利用状況に合致した、寄贈資料の有効活用ができないかどうか検討したいと思います。なお、現在は、シラバス掲載の教科書は3冊までは購入していますので、ご利用ください。

(ご意見) グループ学習室をTAが活用できれば、利用実績もあがるかもしれない。若手研究者が情報交換できるような場所をつくりたい。

(回 答) TAの活動内容の一つとして検討したいと思います。

(ご意見) EndNoteやMendeleyの講習会は、研究者の業績評価の手法を知るのに役に立ったので、実施して欲しい。

(回 答) ご意見ありがとうございます。附属図書館では、Mendeley講習会を、6月に、EndNote basicは7月に総合図書館と理工学図書館で実施済みです。この講習会は、現在吹田キャンパスで1図書館、豊中キャンパスで1図書館の開催となっておりますが、受講状況も見ながら学習・研究に役立つ講習会を各種実施していきたいと思っています。ご意見は今後の開催計画の参考にします。

(ご意見) 予約が多数ついている資料は複本を購入してほしい。

(回 答) 生命科学図書館ではシラバス図書など教科書資料は3冊までは購入しています。その他の資料は予算の都合上複本を購入することが難しい場合が多いため、ご理解いただければ幸いです。

6.現状どおりの運用とします

(ご意見) EJで閲覧できない古い単行本資料が雑誌扱いとなっており、オーバーナイト(一夜貸し)でしか貸出できなかった。

(回 答) 逐次刊行物については、雑誌扱いとしオーバーナイトのみの運用としております。ご了承ください。

7.その他

(ご意見)コピー枚数の上限を増やしてほしい。両面印刷やカラーコピーができればよい。

(回 答)無料のコピー枚数等については、サイバーメディアセンターにて決定されています。いただいたご意見については、生命科学図書館からサイバーメディアセンターにご連絡します。